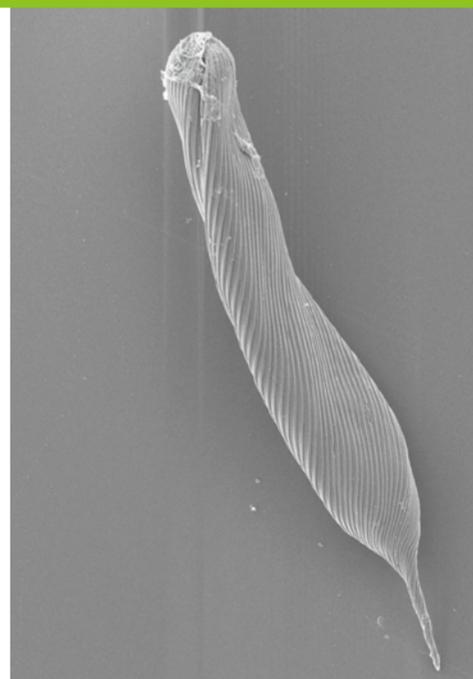


# ミドリムシ のなかま

●ユーグレナ グラシリス  
*Euglena gracilis*  
ユーグレナ藻のなかま

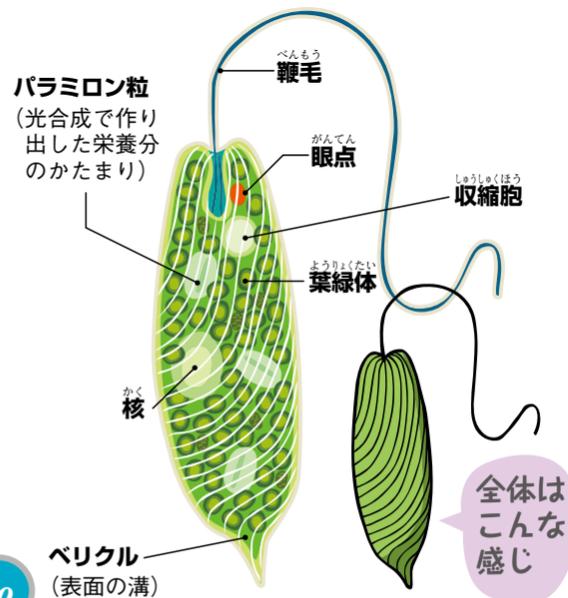
淡水 0.03mm  
海水 0.50mm



ミドリムシの一種の電子顕微鏡写真  
表面をおおうなめの溝（ペリクル）  
がよくわかる。

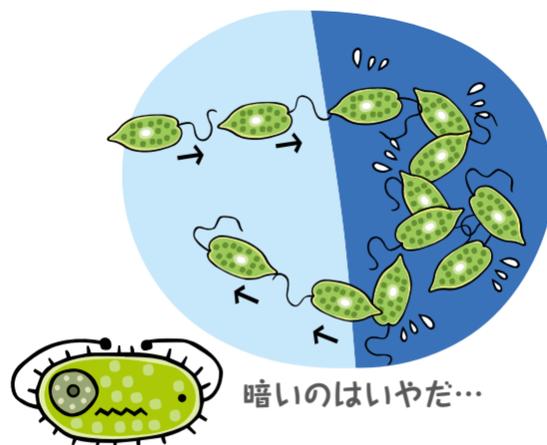
## くねくねと形をかえる 緑のプランクトン

ミドリムシのなかまはユーグレナ藻に属し、鞭毛で泳ぎ、ときに、くねくねとのびちぢみする独特の動きをします。一方で草花と同様に葉緑体によって光合成もします。学校の教科書などでは動物と植物の両方の特徴をもっためずらしい生物として記されていますが、プランクトンの世界では、このような生物はむしろ一般的です。鞭毛は細胞の前の端からのび、これをムチのように動かして泳ぎます。少し汚れた池や沼、田んぼなどで、ときどき大増殖をおこします。



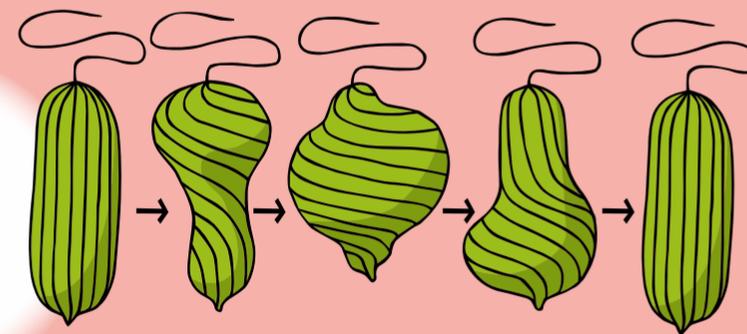
## 暗いところがきらい？

ミドリムシのなかまには細胞の前の方に眼点があり、眼点とその横にある鞭毛のつけ根の部分で光の向きや強さを感じています。明るいところから暗いところに入ると、進む方向をせわしく変えるようになります。再び明るいところにもどると、まっすぐ進むようになります。ミドリムシのなかまは日光を利用して光合成を行うため、明るいところを好むのです。



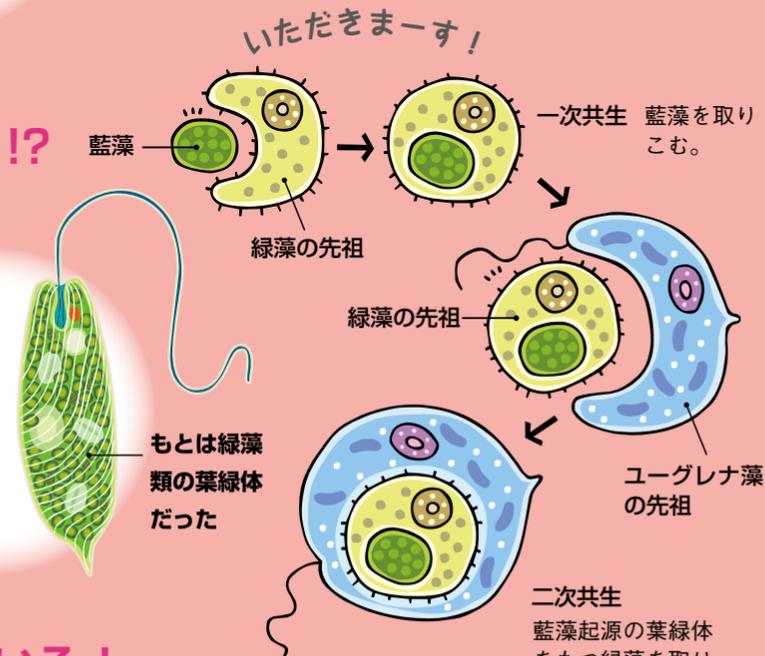
## くねくね、ぐにゃぐにゃ…ユーグレナ運動

ミドリムシのなかまは、細胞の表面が包帯をらせん状に巻いたようにデコボコして（ペリクル）、それがすべり合うことで細胞全体をくねくねとのびちぢみさせ、独特の動きをします。これはユーグレナ運動とよばれ、外から刺激を受けたときなどにみることができます。



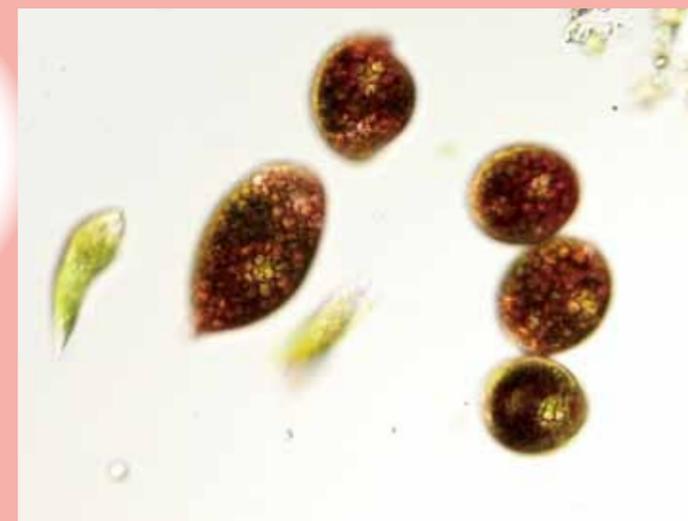
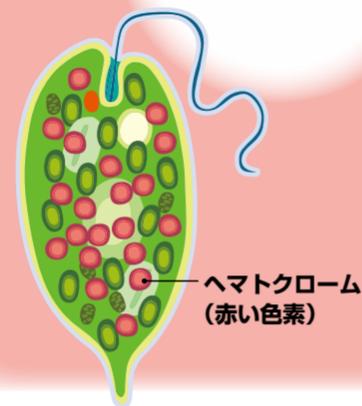
## ミドリムシは 緑藻を飼っている!?

ミドリムシに代表されるユーグレナ藻のなかまの葉緑体は、別の生物である緑藻が体内に取りこまれ（共生）、その後完全にユーグレナ藻のなかまの細胞の一部となったものです。また、取りこまれた緑藻がもつ葉緑体も、もとは別の小さな藻類（藍藻）を取りこんだものです。



## 赤いミドリムシもいる！

ミドリムシのなかまには、赤い色素をもっているために赤茶色に見えるものがあります。ときどき池などで大量発生して、池の水を細胞が赤茶色にそめることがあります。



赤いミドリムシのユーグレナ サンギネア (*Euglena sanguinea*)